

S CRETE GUARD®

浸透性シラン・シロキサン系防水材

S クリートガード S CRETEGUARD®

高耐久性の超撥水力でコンクリートやタイル目地を強固に守る



コンクリートやタイル面をしっかり保護。
シラン・シロキサン成分が深く浸透し強靱な防水層をコンクリート内部に成形します。

NETIS
(国土交通省新技術提供システム)
登録番号：KT-160122-A
新技術名称：S クリート工法

土木学会指針「表面含浸材の試験方法 JSCE-K572」グレード A 適合

BIRCS
株式会社バークス環境



浸透性シラン・シロキサン系防水材 Sクリートガード® S CRETE GUARD®

高耐久性の超撥水力でコンクリートやタイル目地を強固に守る。

Sクリートガードはナノ粒子のシラン・シロキサンを主成分とした高機能な防水材です。塗布後素早く浸透して、コンクリートやモルタルの表層に超撥水層を形成します。同時に、内部に深く浸透して空隙を充填し、緻密な吸水防止層を形成します。耐候性にも優れ、長期間に渡り高い耐久性で塗布面を保護します。

Sクリートガード®の主な特性

超撥水力

Sクリートガード®は高い撥水力を発揮します。下記の写真はクラックに沿ってSクリートガード®を塗布し、その撥水力をテストした様子です。



※ただし、実際の施工では必ず事前にクラック補修を行ってからSクリートガード®を塗布してください。

白華(エフロ)防止

モルタル目地からの漏水は、白華(エフロ)発生の原因となり、外観を損なうだけではありません。目地や下地コンクリートの成分が流出し、外部から水や劣化原因物質が侵入しやすくなり、さらなる白華現象の呼び水となります。



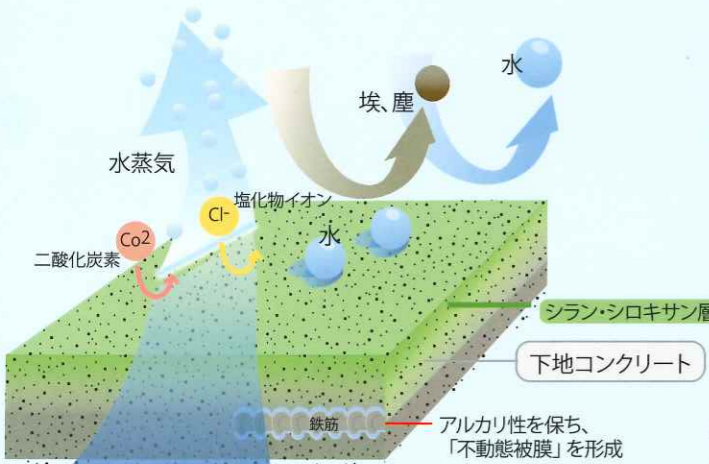
タイルの接着面の脆弱化が進行すると、タイルの剥離・剥落の原因ともなります。また、クラックや漏水の発生・拡大など、構造物自体の強度低下にもつながるおそれがあります。



将来のエフロ予防だけでなく、すでにエフロが発生している箇所も、Sクリートガード®を塗布するだけで、エフロの再発を抑制できます。

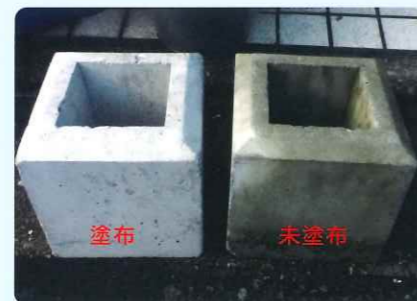
※既存のエフロについてはSクリートガード®を施工する前に除去処理が必要です。

塩害、中性化抑制、防錆



Sクリートガード®はコンクリートの内部に深く浸透し、劣化原因物質の侵入を強固に阻止。水や塵埃だけではなく、中性化の原因となる二酸化炭素と、内部鉄筋の腐食の原因となる塩化物イオンもシャットアウトします。

※Sクリートガード®は無色透明です。上記の図中の色はイメージです。



6ヶ月経過後の写真(右塗布・左未塗布)

防カビ・防汚

黒カビや雨垂れで黒ずんでしまったコンクリート面やタイル面も、Sクリートガード®が強固に守り、建物の美しさと強さを保ちます。

凍害

Sクリートガード®は氷点下20℃までの温度環境でも施工可能です。凍結融解や融雪剤など、コンクリートにとって厳しい環境でも優れた効果を発揮します。

北海道屋上駐車場コンクリート床
6年経過後の写真(赤枠内のみ試験施工)



S CRETE GUARD®

高い防水性能を誇るSクリートガード®は、タイル目地用の防水に最適です。

Sクリートガード®は、タイル面およびタイル目地の長寿命化に貢献します

- ① タイル目地のエフロ抑制と落下抑制効果
- ② タイル目地の防水及び劣化防止効果
- ③ コンクリートとタイルの防カビ・防藻・塩害抑制・凍害抑制効果
- ④ 施工後の変色はありません

(注意事項: 酸性洗剤を用いて洗浄後に塗布した場合には変色するおそれがあります。必ず専用のアルカリ洗剤にて中和処理後に塗布してください)



Sクリートガード®はラスタータイルにも塗布できます。



タイル面へのローラーによる施工



施工後の様子。外観の変化はありません。(※1)



築14年のコンクリート打ち放し建築物への塗布。Sクリートガード®の高い浸透性能がよく分かります。



試験施工から10年経過後の追加試験の様子。10年経過後も撥水性能を保っています。



海沿いのコンクリート打ち放し建築物。Sクリートガード®施工後10年経過しているが、クラック・爆裂・黒カビの発生が無く、良い状態を継続しています。

コンクリートの延命化を実現。施工・再施工の簡便さと高機能な撥水性能を両立。

Sクリートガード®は、コンクリート構造物の延命化を実現します



※1 タイル素材によっては若干光沢がでるなど多少外観に影響を与える場合があります。予め目立たない場所で試験施工を行ってください。
※2 通常の施工手順としては、塗布対象面の汚れがひどい場合には塗布面洗浄後の施工をおすすめいたします。



Sクリートガード®の施工手順

準備

新築の場合は、初期強度発現後（コンクリート打設後 28 日目以降）に Sクリートガード® を塗布してください。初期強度発現前に塗布すると、成分が表層部分で白く結晶化するおそれがあります。

温度を確認（-20℃以上60℃以下）してください。

養生

ガラス、アルミ、化粧タイル、樋、手摺、自動車など。

※ガラス部分に付着すると、曇りが生じる場合があります。また、金属部分に液剤が付着すると変色するおそれがありますのでご注意ください。

下地処理

大きなクラック（0.3mm以上）やジャンカ等の補修を行ってください。タイル張り替えの際には姉妹品の Sクリートアップを塗布後にタイルを貼ってください。

清掃、洗浄

アルカリ洗浄剤を使用し、高圧洗浄機及びブラシ等で施工面のカビや苔などの汚れを落としてください。

※酸性の洗剤を使用した場合は、必ず中和処理を行ってください。

塗布

ローラー、刷毛、噴霧器などを用いて Sクリートガード® を均一に塗布します。飽和状態となるまでしっかりと塗布してください。2回塗りの場合は、1回目の塗布完了後、塗布面が乾燥してから行ってください。

水養生（低圧散水）は不要です。

Sクリートガード®の標準使用量

塗布対象	平米あたりの標準塗布量（2回塗布計）		塗布回数
コンクリート全般・吸水性タイル	5～8 m ² /ℓ	150～200cc/m ²	2回
磁器タイル目地	10～15m ² /ℓ	80～100cc/m ²	2回

※上記の使用量はあくまでも目安です。施工実施前に試験施工を行い、必要な使用量をご確認ください。

※タイル面に塗布する際は材質によって使用量が異なるため、事前に弊社または代理店までお問い合わせください。

注意事項

施工前の注意点

- ・酸性の洗剤を使用した場合は、Sクリートガード® を塗布する前に必ず中和処理を行ってください。
- ・コンクリートの表面に剥離剤やフッ素コーティングが付着している場合は、除去剤および高圧洗浄等にてあらかじめ除去してください。
- ・屋外での施工時には、降雨（雪）時や、施工直後に降雨（雪）が予想される場合を避けてください。
- ・コンクリートの状態によって必要な塗布量が異なります。必ず事前に試験施工を行い、飽和状態（Sクリートガード® が浸透する上限量）を確認してください。
- ・乾燥時間は素地や構造物の状態により異なります。
- ・噴霧器を屋外で使用する際は、液剤が飛散する恐れがありますのでご注意ください。また金属やガラス部分に付着しないよう養生を行ってください。
- ・水養生は不要です。
- ・タイル張り替えの際には姉妹品の Sクリートアップを塗布後にタイルを貼ってください。

使用時の注意点

- ・使用可能な環境は -20℃～+60℃です。
- ・使用前に容器をよく振ってください。

荷姿

- ・ 4L（ポリ容器）、25L（ポリ容器）

施工時・保管上の注意点

- ・施工時は換気に十分に注意してください。
- ・施工時には保護眼鏡や防護マスク、作業用手袋を着用してください。
- ・火気および高温物質のある場所で使用したり保管しないでください。
- ・使用後は蓋をしっかりと閉め、温度変化の少ない暗所で保管してください。0℃以下の場所には保管しないでください。
- ・子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・皮膚等に付着した場合は、直ちに石鹸等を用いて洗い流してください。

*その他の詳細については安全データシートをご覧ください。

本製品カタログに記載されている SCrete Guard および Sクリートガードは MICC TEC の登録商標です。

■ 製造元

(株)バークス環境
〒152-0004
東京都目黒区鷹番3-14-13 パステルハイム302
TEL. 03-5794-3933 FAX. 03-5794-3934
email: bircs@bircs-kankyo.com
WEB bircs-kankyo.com

■ お問い合わせは下記販売代理店まで